

## 公開講座活動報告

法人・団体名 鹿児島県母性衛生学会

テーマ 糖尿病とは？ ～もしあなたが糖尿病妊婦と出会ったら～

講師 日本看護協会常任理事 福井トシ子先生

開催年月日 平成 28 年 8 月 27 日(土) 14 時～15 時

会場 鹿児島県医師会館 4 階大ホール

---

### 講演概要

妊娠糖尿病の診断、治療と妊娠・分娩・産褥期における支援の実際ということで、1. 妊娠糖尿病の基礎知識 2. 妊娠糖尿病妊婦のケアの実際 3. 退院後の継続支援についてご講演を頂きました。

講話は、事例の妊婦に起きる様々な状態（つわりの出現、血糖値の上昇、切迫早産での入院など）に合わせて、妊娠糖尿病妊婦や医療者が抱く疑問を提示され、それに答えていく形で進められました。疑問は「Q1 血糖測定はどのようなタイミングで開始をしたらよいのでしょうか？」から始まり、血糖値コントロールの目標値、悪阻時の食事、分割食の必要性、インスリン注射の種類と使用方法、リトドリン塩酸塩持続点滴中の血糖の変化、そして、「Q10 分娩時の血糖測定の回数はどれくらい測定するとよいですか？」までの計 10 項目。疑問への回答は、基礎知識からケアの実際まで、最新の情報も含めながらとても分かりやすくお話頂きました。

講演終了後の質疑応答では、会場より「妊婦のインスリン注射部位への戸惑い」「分娩時の血糖測定について」の質問がなされました。最後には、福井トシ子先生より、妊娠糖尿病妊婦に関わっている臨床現場の方々からいろんなデータを発表し、新たな管理やケアのエビデンスを作っていくことも必要とのご示唆も頂きました。1 時間という短い時間ではありましたが、福井トシ子先生の話術と講演内容に引き込まれ、とても充実した時間を過ごすことができました。

